

PRESS RELEASE



カナエール、最後の舞台。「この夢は、忘れない」

児童養護施設から進学を目指す子どもたちが 夢を語るスピーチコンテスト「カナエール」

**2011年から開催してきたカナエールは今年が最後となります。
子どもたちの声を生で聴けるラストチャンスです。ぜひ会場へ!**

私たちが、7年前に始めた児童養護施設の子どもたちへの奨学金支援の取り組みに、社会はひとつの答えを出し始めています。厚労省が3月から「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付」制度を開始。施設から進学する退所者に対し、家賃相当額と月5万円の生活費を、正規の修学年数（大学なら4年間）貸し付けるもので、いずれも卒業後5年間就業を継続すれば返済が免除されます。学費については、文部科学省が「給付型奨学金」制度を始めました。本格的なスタートは2018年度からですが、「特に経済的に厳しい状況にある学生」として、児童養護施設退所者と、住民税非課税世帯を前提とし私立大学に自宅外から通う学生については、2017年度から先行実施されました。

公的支援は大きく前進しました。そして、国の制度以外にも企業や財団で、この7年間に児童養護施設退所者を対象とした様々な奨学金が設立されました。カナエールを開始した2011年当時と比較すると、格段に、児童養護施設の子どもたちの進学「資金」という面は、社会が支える仕組みが整いつつあります。制度の浸透に段階はあれ、子どもたちがお金を理由で進学を諦めなければならない問題は、今後、解消されていくでしょう。

カナエールは、子どもたちの進学を「資金」と「意欲」の面から支える奨学金プログラムとしてスタートしました。「資金」という課題は社会制度で解決されつつあります。これは私たちの活動のひとつの成果です。課題がひとつ解決したのであれば、NPOは、次の課題に取り組むべきだと考えます。カナエールというプログラムの「意欲」の支援面にさらに重点をおき新しい形へ進化させるために、いったん今年でプログラムを終了する決断をいたしました。

(プログラムの終了に関する詳細はB4Sのホームページをご覧ください。)

最後のスピーチコンテストの舞台です。

会場で応援する大人の存在が、子どもたちの力になります。開催情報の掲載をぜひお願いいたします。

横浜会場：2017年7月1日(土) 13:00～16:30 鶴見公会堂

東京会場：2017年7月8日(土) 13:00～16:30 ニッショーホール

福岡会場：2017年7月9日(日) 13:00～17:00 黒崎ひびしんホール

お申し込み方法 カナエール公式 HP <http://www.canayell.jp/contest/> よりお申込下さい。

* ネット環境のない方は、下記までお電話にてお問い合わせ下さい。

NPO 法人ブリッジフォースマイル 03-6842-6766 info@canayell.jp

★リリースについて、またカナエールや児童養護施設の子ども達の取材は下記までお問い合わせ下さい。

ブリッジフォースマイル広報 米澤麻理子 080-4815-9422 myonezawa@b4s.jp

植村百合香 080-3316-2074 yuemura@b4s.jp

次ページ→ 奨学金プログラム「カナエール」とは?

PRESS RELEASE



カナエールは2011年から毎年開催、7年間で124名の奨学生を迎え、スピーチコンテストへの来場者数は、2011年～2016年 通算5,000名。

今年も奨学生たちが、最後の舞台に立ちます。

「資金」と「意欲」の面から児童養護施設の子どもたちの進学を支援する奨学金プログラム「カナエール」とは、..

児童養護施設で育つ子どもの数は全国で約3万人。頼れる親も大人もいない中、夢をもち、進学を目指す子どもはほんの一握りです。大学や専門学校への進学率は、一般の全国平均75%に対し、わずか23%。中退率は全国平均の3倍、25%にもなります。親を頼れない子どもたちは、学費と生活費を全て用意しなければならず、働きながら学び続ける生活に、心身ともに疲れ切ってしまうのです。

カナエールは、彼らの進学から卒業までをサポートする奨学金支援プログラムです。スピーチコンテストへの出場が、返済の必要のない奨学金（一時金 30 万円、卒業まで月々3 万円）の給付条件となります。児童養護施設の子どもたちの自立支援を行う NPO 法人ブリッジフォースマイル/カナエール実行委員会が主催し 2011 年にスタート、昨年までの 7 年間で 124 名の奨学生を迎えてきました。



カナエールは、奨学金を提供するだけのプログラムではありません。出場者である23人（東京10名、横浜6名、福岡7名）の児童養護施設の若者には、スピーチコンテストまでの120日間、1人に3人の社会人ボランティアがつきます。エンパワチームと呼ばれる3人の大人が彼らに伴走しながら、チームビルディングのための合宿、スピーチ原稿作成、映像制作、本番までのスピーチトレーニングを行います。スピーチと一緒に創り上げる仲間の存在を感じることで、数百人の観客の前で、夢を語るという大きなチャレンジを乗り越える



ことで、自己肯定感、進学と夢への意欲を高めます。また、コンテスト終了後は、彼らが学業・アルバイト・家事に追われ、心の余裕を失わないよう、卒業まで、社会人ボランティアとブリッジフォースマイルが定期的に面談やイベントで交流を持ちます。カナエールはお金だけでなく、子どもたちの「意欲」も支援しています。

★カナエールや児童養護施設の子ども達の取材は、下記までお問い合わせ下さい。

ブリッジフォースマイル広報 米澤麻理子 080-4815-9422 myonezawa@b4s.jp

植村百合香 080-3316-2074 yuemura@b4s.jp